

A-2 「学校のまわり」指導案・活動記録

3年生で初めてスタートする社会科の学習では、課題を自分で設定し、調べ、考え、解決していく活動を通して、「わかる」喜びを体感させるとともに、さらに新たな課題を見つけていくことを大事にしたいと考えた。そして教材・地域・学びとの出会い・繋がりも考慮に入れ学習を進めていきたいと考えた。

初めての小単元「学校のまわり」は、町探検を通して見たり聞いたり気づいたり分かたりしたことを話し合ったり、絵地図にまとめたりすることを通して、校区の町の特徴について、自分なりに考えていくことにした。「学校のまわり」の活動記録は以下の通りである。

(↓これは、最後にみんなでまとめた絵地図である)



1. 小単元名 学校のまわり

2. 目標

- 学校のまわりの様子に関心をもち、五感を働かせて意欲的に調べようとする。
[関心・意欲・態度]
- 身近な地域の場所による違いや特色を具体的に考えることができる。[思考・判断]
- 学校のまわりの様子を探検計画に沿って具体的に観察し、その結果をワークシートや絵地図にわかりやすく表現することができる。
[技能・表現]
- 学校のまわりの様子は場所によって違いがあることやそれぞれの場所の特徴がわかる。
[知識・理解]

3. 単元について

(1) 指導にあたって

①児童の実態について

2年生までに、子ども達は生活科の学習で「学校の裏山探検」に行って、自然に触れ合いながら、おもしろいものを見つけたり、「学校版ほうらい祭りをしよう」で、地域のお祭りを知り自分達もやってみたりして、体験を通して活動してきている。しかし、朝日校区はとても広く、低学年までは活動範囲が狭かったため、自分の住んでいる町以外にどんな町があって、どんな様子なのか知らないのが実態であった。

4月に進級したばかりの子ども達にとって、新しい学習「社会」との出会いはとても楽しみなものであったようだ。「どんな授業が始まるの?」「おもしろいかな?」「外に出るの勉強はある?」などと聞いてくる子が多かった。これからの1年間、今の気持ちを大切にしながら、意欲的に学習や活動を進めてほしいという願いから、まず「地域」をベースとして子ども達の関心の持てる教材を精選して向き合わせていくことにした。

また4月当初、子ども達を見ていると、些細なことで友達とけんかになり、それを授業が始まっても引きずっていたり、遊びに夢中になって学習のスタートが遅れたり、自分勝手に話し始めたり、嫌なことはすぐにあきらめてしまって活動が進まなかったりする様子が見られたので、学習規律の徹底と友達の良いところ認めてあげられるような集団づくりを念頭におくことにした。そして、子ども達同士を高めるためにも、いろいろな活動の場で、関わりあいを大切にした「聴き合い」「学び合い」「磨き合い」の授業づくりを目指していけたらと思った。

本小単元では、「自分の住んでいる町の様子をみんなに教えてあげよう。」から「本当？みんなで確かめに探検に出かけてみよう。」さらには、「自分達だけの自慢マップを歩いて見て聞いてつくってみよう。」と切り返していきながら、課題を追求する楽しさに迫っていけたらと考えている。

②教材について

本小単元は、子ども達が3年生になって初めて出会う教科の最初の単元である。その意味でも地域の様子や地域に生きる人々を具体的に生き生きととらえ、共感をもって学習をスタートさせることが大切だと考えている。

そこで、「社会科の学習って、自分達の生活に身近なことを、自分達で調べ、考えていく勉強なんだな。なんだか楽しいな。」と思わせるために、本小単元ではまず、自分の町のお気に入りの場所を紹介し合いたい。そして地域への関心と様々な地域事象への気づきを深めるために、町探検を計画・実行し、絵地図づくりの活動へと学習を進めていきたい。町のいろいろな人達に会ったり話を聞いたりすることで、今まで気づかなかったことやものに着目しながら、地域社会に対しての誇りと愛情をも育てられたらと思っている。

③課題を追求する授業にせまるために（指導・支援）

本小単元における課題を追求する姿とは、町探検で見たり聞いたり分かったりしたことを話し合い、その活動を通してみんなで1つの絵地図にまとめ、町の特徴について理解する姿であるとする。

そこでまず、自分の住んでいる町のお気に入りの場所を絵と文で紹介するところから活動を進めていく。発表を聞き合うことで、自分の町にはない建物があることや今まで知らなかった場所があることに気づき、みんなで探検の計画を立てていこうと課題を設定する。その際、さらに活動の意欲を膨らませる手段として、＜朝日校区はどんな特徴をもっている地域なのか＞屋上から予想を立てさせることにした。そして自分なりの課題を見つけ、追求していこうと投げかけ、自分の考えを整理する時間を設定していきたい。

また、探検のコースを方角別に4コースに分け、どんな順序で何を調べてくればよいのかを明確にしたい。そして、各町ごとのリーダーには、デジカメをそれぞれに持たせ、自分の家や町の様子紹介をしていってもらったり、お薦めの所を写していってもらったりする。「リーダーさんより物知り博士になろう」というめあてのもと、いろいろな人に出会って町の様子について話を聞く時間も設定し、みんなが進んで調べ活動ができる場を作っていく。その際、事前に見学実施日を家の人に連絡して協力を求めたり、活動の様子をお便りでお知らせしたりして事後に役立てられるようにしたい。

探検に際しては、コースによってオリエンテーションを活用したり、絵で表現してきたり、マップに記入していったりと単調な見学にならないように配慮したい。

1つの大きなマップをみんなでそれぞれ各町ごとに責任をもってつくらせるために、時間の確保も十分に行いたい。また、写真やマーク・地図記号の選別も各自の自主性を大事にしながらか認め、褒めながら進めていきたい。

4. 指導計画（全19時間＋課外）

次	主な学習の流れ<課題>	支援・指導（▽） 目標についての評価
第一次 学 校 の ま わ り を 見 て み よ う ③	第1時（自分の町にあるお気に入りの場所を紹介しよう） ○絵と文でお気に入りの場所についてカードに書こう。 ・お気に入りの理由も分かりやすく書こう。 ○お気に入りの場所を紹介し合おう。 ・私の町にある神社は、全国からたくさんの人達がお参りに来ます。 ・僕の町にある薬局は、400年の歴史がありたくさんの人達が買い物に来ます。	▽実物投影機を使うことにより、自分達の住んでいる町に興味をもって発表が聞けるようにする。 関：自分なりの言葉でお気に入りの場所について紹介しようとしている。 （ワークシート、発表）
	第2時（屋上から校区の様子をながめてみよう） ○東西南北に分けて、じっくり観察してみよう。 ・東は山ばかりしか見えないね。 ・自分の家が見える方角は西だ。お店屋さんもたくさん見える。 ・ぼくの家は北にあることが分かったけど、全然見えない。警察署や高校があるのは見えるけど・・・ ・朝日校区って広いんだ。もっとくわしく調べてみたい。	▽方位磁針を使って、東西南北の方角を確認させる。 技：方角を意識して、見つけたものをワークシートに書いている。（観察、ワークシート） ▽建物や土地・交通の様子など視点別に話し合える場を意識的に作っていく。
	第3時（朝日校区は、どんな特徴をもった町と言えるかな） ○町探検の計画を立てよう。 ○コースの順番を相談しよう。 ①東コース（朝日・八幡方面）歩いてすぐに行けそう。 ②南コース（白山・中島方面）バスでいく必要があるよ。 ③西コース（本町・大国方面）色々な建物を見れそう。 ④北コース（月橋・明島方面）田畑はバスから眺めよう。 ○持ち物や調べること、探検の約束について確認しよう。 ・安全帽子・探検バック・カード・筆記用具が必要だ。 ・建物や土地の様子、昔からあるもの、みんなでするところ、交通の様子などをメモしてこよう。 ③ ・探検マナーも確認できたよ。早く行きたいな。	▽朝日校区の白地図で、どんなコースの順番で探検に行ったらよいか、どんな方法で町の様子を調べてくれるよいか皆で考え、確認させる。 関：コースや調べる視点を理解し、町探検の見通しをもっている。（発言・観察） ▽探検マナーやメモの取り方を具体的に提示することにより、課題を明確化させる。
第二次 朝 日	第4・5・6時（学校の東側はどんな様子だろう） ○東コースを探検しよう。 ・ゲーム形式に探検するから楽しみだ。 ・今まで歩いたことのある場所だ。 ・ポイントの場所に何の建物があるか書いていこう。 ○分かったことや気づいたことを発表し合おう。 ・山が多くて、自然がいっぱいでした。 ・人に会えなかったけどパーク獅子吼まで行くといいたよ。 ・いろいろな建物を知ることができた。	▽まわりの地形や土地利用、建物や交通量など探検で見ている視点を身につけさせるためまずウオーラリー形式で探検をさせる。 思：東コースの特徴ある建物などや気づいたことを見つけて、カードに書いている。 （探検カード・観察）
	第7・8・9・10時（学校の南側はどんな様子だろう） ○南コースを探検しよう。 ・今回は見つけたものを絵や言葉でカードに表すんだ。 ・遠いからバスに乗る必要があるんだね。	技：見つけたものや気づいたことを、カードに絵と言葉で分かりやすく書いている。 （観察・カード）

<p>小 学 校 の ま わ り</p>	<p>○分かったことや気づいたことを発表し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼが広がっていたし1つ1つの町までが長かった ・白山比咩神社があった。 ・お寺や地藏様などもあった。 ・絵で書くのは大変でした。もっと楽にメモできる方法はないかな。 <p>○地図記号やマークで絵地図に表すことを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見たことがあるよ。 ・こんな簡単な表し方があったんだ。 ・楽しみながら覚えられるぞ。 ・今度の探検から使ってみよう。 	<p>思：探検でつかった事実を生かして南コースの様子の特徴を短い言葉で表現している。 (発言)</p> <p>▽地図記号やマークを使うと便利であることを知らせる。 ▽ワークシートや班ごとの神経衰弱ゲームで地図記号の理解を深める。</p> <p>知：絵地図やマークで表すと便利なことを理解している。(ワークシート・観察)</p>
<p>を 探 検 し よ</p>	<p>第・11・12・13時(学校の西側はどんな様子だろう)</p> <p>○西コースを探検しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回はマークや記号を使うと簡単だ。 <p>○分かったことや気づいたことを発表し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所や駅、店など書ききれないくらい建物があつたよ。 ・手取川が流れていたよ。 ・人通りや車通りも多かった。 ・マークも地図記号と同じようにみんなで決めたらいい。 <p>○みんなで共通のマークを決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会場や公園は簡単でわかりやすいものを考えよう。 ・お店屋さんは、 にしようよ。 ・家は沢山あるから、 に色を塗った方が簡単だね。 	<p>技：見つけたものをマークや地図記号で白地図に分かりやすく書いている。(探検カード)</p> <p>▽探検で見つけてきたものをまとめていくことで、南コースの特徴に気づかせる。</p> <p>思：探検でつかった事実を生かして西コースの様子の特徴を短い言葉で表現している。 (発言)</p> <p>▽共通のマークを考える時間を保障する。</p>
<p>う ⑬ 十 課 外</p>	<p>第14・15・16時(学校の北側はどんな様子だろう)</p> <p>○北コースを探検しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で絵地図を仕上げよう。 <p>○分かったことや気づいたことを発表し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼが多かったしなし畑もあった。 ・新しい家も多かった。・北側コースは、長く感じた。 	<p>技：見つけたものを白地図にまとめている。(探検カード)</p> <p>思：探検でつかった北コースの特徴を短い言葉で表現している。 (発言)</p>
<p>第 三 次 校 区 の 特 徴 を 知 ろ う ⑬</p>	<p>第17・18時(1つの絵地図に完成させてみよう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで相談して作るんだ。仲良く作っていこう。 ・各町を写真や地図記号、マークで表していこう。 ・全員の家も回ったから、自分の家も絵地図に表そう。 ・色分けすると分かりやすいよ。 <p>第19時(朝日校区の町はどんな様子なのだろう)</p> <p>○完成した絵地図を見て考えよう。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・東コースは、山や自然が多かった。 ・南コースは、長細かったし田が広がっていた。神社や有名な公園などみんなが使う場所も多かった。 ・西コースは、町の中心で色々な建物が並んでいた。お店や公共の建物、病院などもあった。手取川も見えた。 ・北コースは、田やなし畑などがあつたし、警察や消防署などもあつた。新しい家も多かった。 </div>	<p>▽地図記号やみんなで決めた地図の約束を活用するよう声かけしていく。また特に知らせたい場所は写真も活用させる。</p> <p>技：わかりやすく工夫して絵地図にまとめている(絵地図)</p> <p>▽教室に完成した大きな絵地図を掲示し、みんなで見合うことでどこに何があつたかそれぞれのコースの特徴をまとめていく。</p> <p>知：校区の特徴について理解している。(発言・ワークシート)</p>

(以下、単元計画に基づいての活動記録をおおまかに載せておく)

*自分の町紹介では、視覚的にも見やすい実物投影機を利用した。ワークシートは学習活動の流れで作成していった。また、地域・保護者の方の協力を得るため、お便りなどで密に連絡・お知らせをしていった。1学期の総合「見つめようわたし達の町を～名人を探して～」の時間も活用しながら、全員で全地区を徒歩やバスでまわった後は、地形全体の形、そしてそこからイメージできるもの、面積・人口、各方角別の特徴、同じ白山市の学校のまわりの特徴の違いなどについて話し合っていた。



*地区探検で、ちょうど消防署の前を通り訓練している様子を見かけ、「なぜ火事でもないのに、真剣に訓練の練習しているのだろうか？」という疑問が子ども達から出たことから、次時に繋げることにした。学校の消防施設から消防署、地域の消防施設と視野を広げていった。

2学期は、1学期最後の総合で探した『なしづくり』の名人さんに「会ってみたいな。どんななしを作っているのだろうか」から「名人さんのつくったなしを食べてみよう」「おいしいな。」「どんなふうになんかおいしいなしをつくらせてほしいな」と『農家の仕事～一級品のなしを追って～』と学習を進めていった。

そして、なし園に見学に行った時、ちょうど稲刈りをしている農家もたくさんあり、「何をしているのかな？」と問うと、「機械で稲を刈っている。」と答えることはできたが、「何ていう機械かな？」と問うと一斉に「わからな～い。」という声。そのため、なしづくりの後、米づくりについても鶴来の名産なので、学習を発展させることにしていった。

そして、それらが「どこで売られているのかな？」という問いを調べる中で、お店の学習へと繋げていった。